

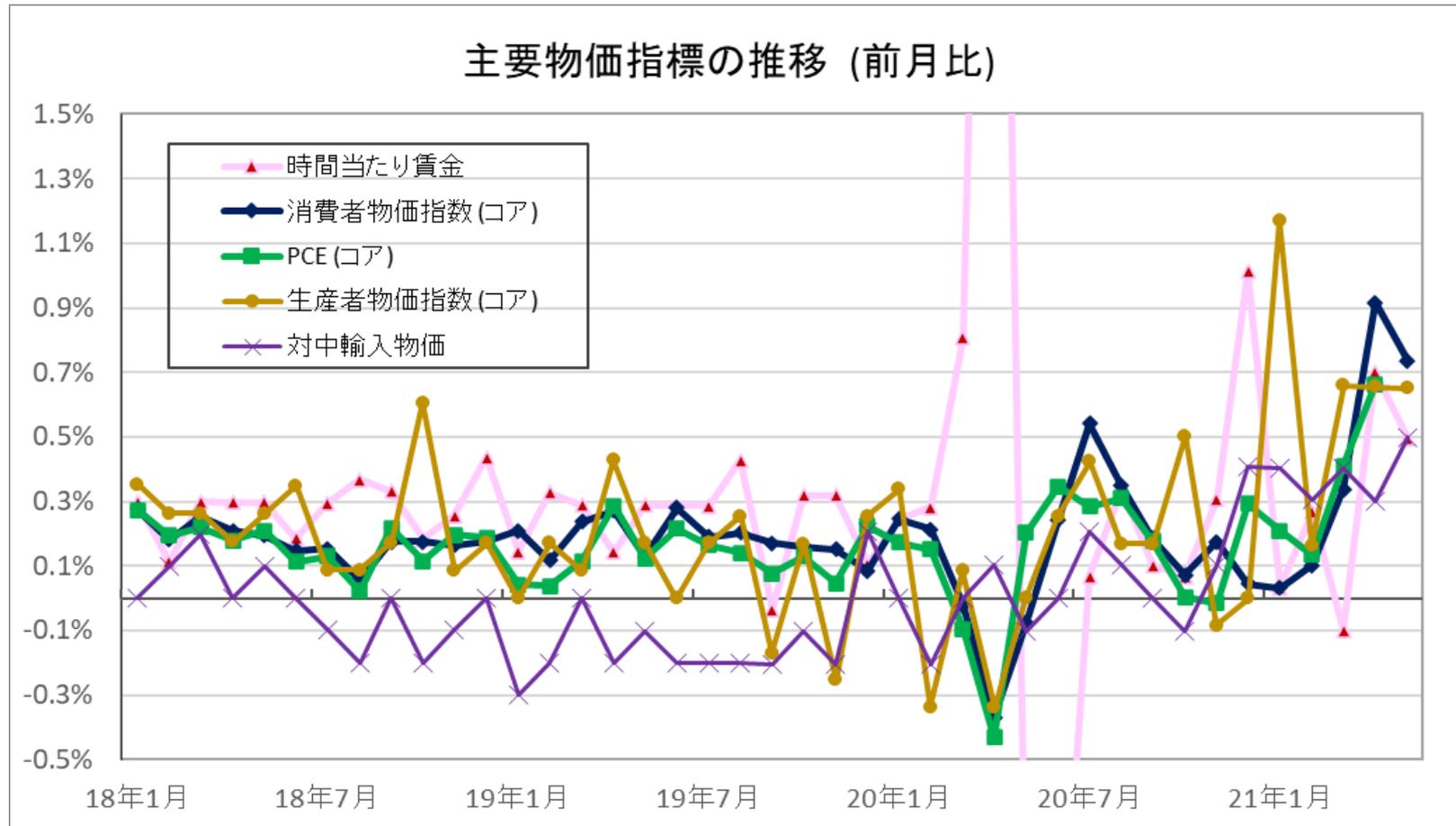
インフレの要因は一時的？

- ・ 景気の急速な回復による需要の増加
 - ワクチン接種が進んだ州では、コロナ関連の規制撤廃加速
- ・ サプライチェーンの問題に伴う供給不足
 - 世界的に経済活動が回復してくれば、いずれ解消
- ・ 商品市場の高騰
 - エネルギー価格の上昇に歯止めが掛からなくなる恐れも
- ・ 労働市場の逼迫に伴う、賃金上昇圧力の高まり
 - 可能性高いが、物価に影響及ぼすのはまだかなり先
- ・ 市場のインフレ期待の高まり
 - インフレに対する期待(不安)、が長期的なインフレを作り出す

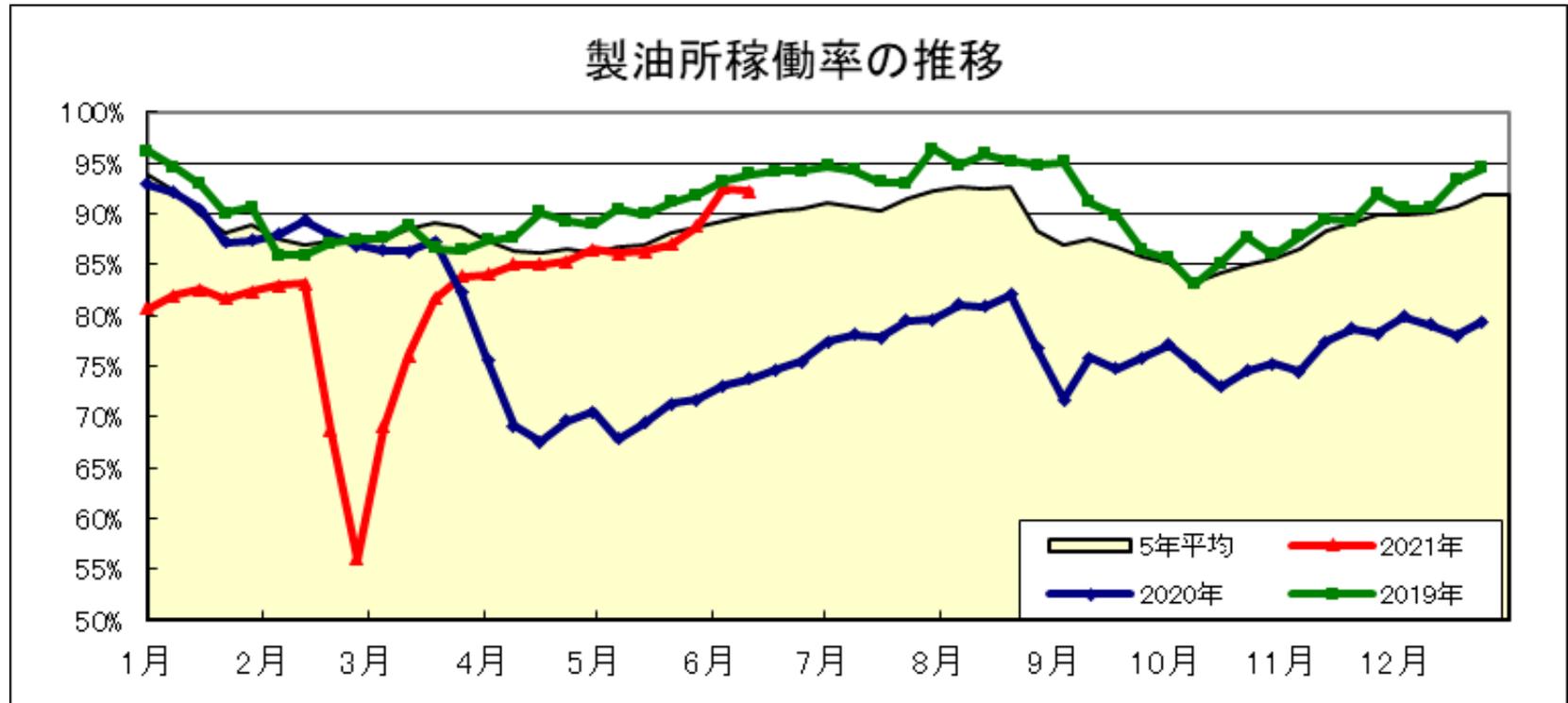
ドットチャートをシフトさせたのは誰？

ハト派	発言		2021年	2022年	2023年
カシュカリ	ミネアポリス連銀総裁	○	★★★★★		✓
ブレイナー	FRB理事		★★★★★	✓	✓
エバンス	シカゴ連銀総裁		★★★★	✓	✓
ウィリアムズ	ニューヨーク連銀総裁	○	★★★★	✓	✓
デーリー	サンフランシスコ連銀総裁	?	★★	✓	✓
クラリダ	FRB副議長		★★	✓	✓
パウエル	FRB議長		★★	✓	✓
ウォラー	FRB理事		★	✓	✓
メスター	クリーブランド連銀総裁	?	★	✓	✓
クオールズ	FRB副議長	○		★	✓
ローゼングレン	ボストン連銀総裁	○		★	✓
ボウマン	FRB理事	◎		★★	✓
ブラード	セントルイス連銀総裁	◎		★★★★★	✓
ボスティック	アトランタ連銀総裁	◎		★★★★★	✓
バーキン	リッチモンド連銀総裁			★★★★★	✓
ジョージ	カンザスシティ連銀総裁			★★★★★	✓
ハーカー	フィラデルフィア連銀総裁			★★★★★	✓
カプラン	ダラス連銀総裁	○		★★★★★★	✓
タカ派					

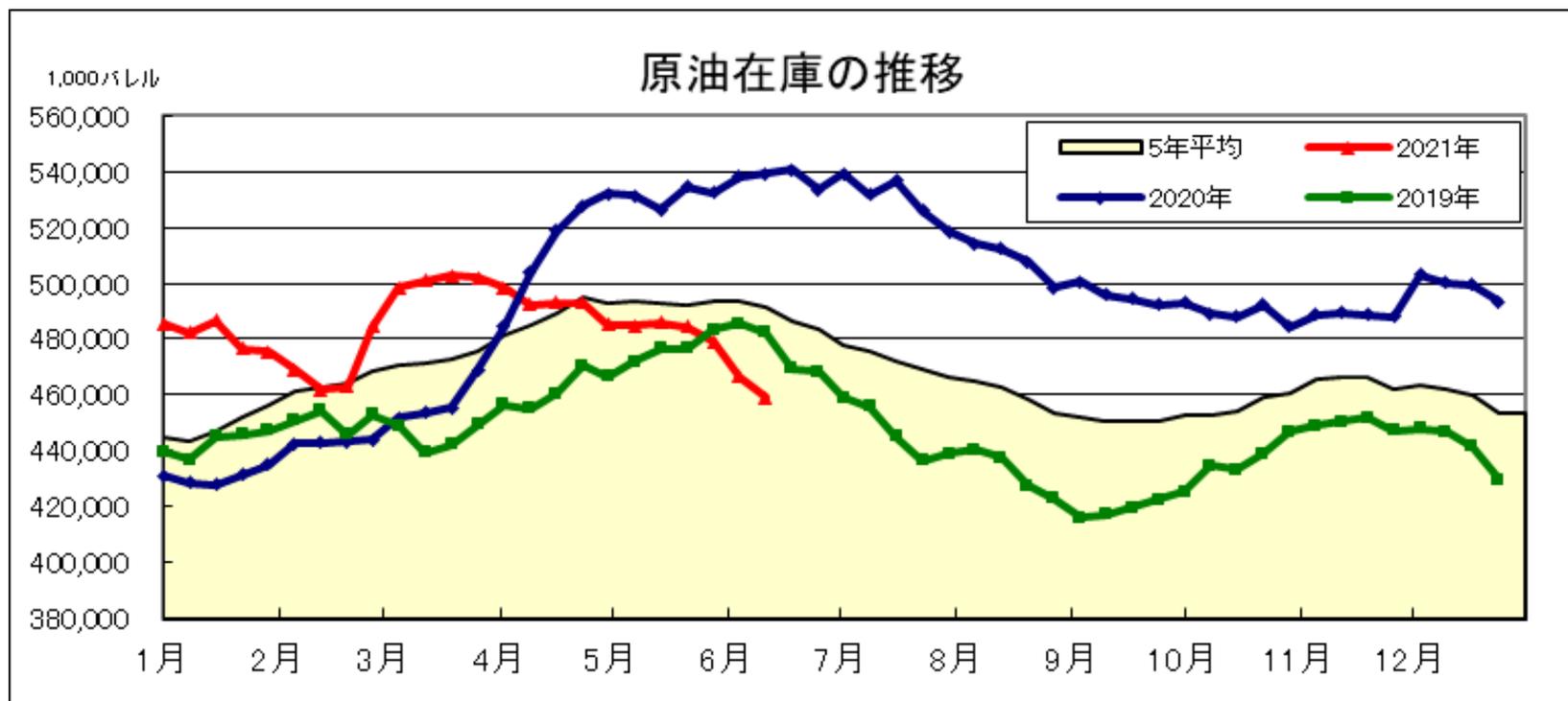
物価関連指標は引き続き強い伸び示す



製油所稼働率の上昇は、需要回復の先行指標



原油の需給は、足元で急速に逼迫



ガソリンの需要は、まだ増加余地残る

